

ホームルーム指導計画作成の手順と
実施における問題点

神 藤 邦 芳

本校では過去の経験にかんがみ、本年からホームルームの年間指導計画を生徒を中心に作製させることにし、果してよい結果が得られるか見守ることにし、その一端をお知らせすることに致しました。高一では意慾にもえていると見ることができますが、高二になると直接関係のある主題の時間以外はホームルームに関心を示さず、高三になると受験と関係のないこの時関を務める余裕をもたず、進学指導にあたる時だけしか効果をあげていないようである。以下つぎの5つについてそのようすを少し細かく述べて見たいと思います。

1. ホームルームの年間指導計画作成の手順
2. ホームルームの年間指導計画表
3. ホームルームの状況
4. 実施しての成果と問題点
5. 今後更に留意すべきこと

1. ホームルームの年間指導計画作成の手順

(1) 高 校 一 年

○組 の 場 合

- ① 原案の作成 学級代表2名と各班長4名の計6名がホームルーム担任指導のもとに行う。
- ② 指導計画の決定

原案をホームルームで検討 一部修正して可決。修正箇所「時事問題に関する討論は特に期間を定めない」

○組 の 場 合

- ① ホームルーム年間計画をいかにして作成するか担任と学級代表で話し合う。
- ② ホームルームで全体討議にかけて年間計画作成について話し合いつぎのような手順で作成することにきめる。
 - a. 全体を5班に分ける
 - b. グループ毎にホームルームを主体的に運営する。各グループ4時間ずつホームルームを受けもつ
 - c. 各グループで興味ある問題をホームルームであげるにふさわしい形に準備する
 - d. 各グループの責任者が集まり、テーマの調整をする（担任出席）
 - e. 全体会議で年間計画を承認する
- ③ 上記a～eの手順で年間計画を決める。

(2) 高 校 二 年

○組 の 場 合

- ① 年度はじめのホームルームにホームルーム担任より、年間のホームルーム導指に当然取り上げられるものと思われるものを掲示し、それらについての見解および、その他に取り上げるべき題目についての意見を求めたが、ホームルームの持ち方についての意見が多くでて時間内にはまとまらず、日時を期して各自が意見を提出することにする。
- ② 集った少数の意見を参考にし、ホームルーム担任の示したものを修正し、ホームルームにかけて一応の決定をみる。
- ③ 2で決ったものは固定のものとして、随時発生する問題に応じて新たな議題を取り入れ得るものとする。
- ④ 毎週1回班長会議（8班に分けてある）を開いてつぎのホームルームにおいて取り上げる議題を確認する。その際予定の変更も可能となっている。

○組 の 場 合

① ホームルームを班に分ける。わけ方……機械的

② 各班の班長を選出する

選出基準……無責任でなく、意欲的で、他に忙役なき人

③ 班毎にやりたいことを出す

参 考 例……やれる可能性（難易度を問わず）のあるものをあげれば、

コーラス、校外散歩、映画演劇感想会、室内スポーツ、室外スポーツ、レコードコンサート、人生問題討議、社会問題討議、時事問題討議、学校生活に関する討議、クラブ活動報告、フォークダンス、学習会、自習、その他

④ 班長会議（クラス代表を常に含む）で班の責任月（班が討議やレクリエーション活動の音頭をとる月）を決める。

⑤ 班長会議で班でとりあげた活動内容の調整をする。

⑥ 各班で調整された「やりたいこと」をもとに、責任月（2～4週）に、それをどんなふうに行うか計画する。

⑦ 班長会議で、6の計画をもとに年間計画を立てる。

臨時の議題、行事を予測しなければならぬから、柔軟な計画にしておく。

⑧ 以上班長及びクラス代表の出した原案にHRTが手を入れて計画が作製される。

⑨ 責任班はその活動にあたって、必要があれば、各班長に活動内容予定の通知、要望などをしておくこと。

⑩ クラス代表は以上の活動をまとめ、他クラス、生徒会との連絡協議などにあたる。

⑪ HRTは、HRPの自治を重んじ、以上の過程の助言と指導にあたる。

(3) 高 校 三 年

各組のホームルーム担任が集り、その協議により作製する。生徒の代表を含めての作製を考えたが、現実の問題としては実施できなかった。計画の作製は実施の段階まで考えると短時間ではこれをまとめることができず、これに相当の時間を費すのは受験を控えた生徒にとっては困難なことであり、その気にもなれないといったことのようなのである。

2. ホームルーム年間指導計画表

昭和40年度高一ホームルーム年間指導計画				
組 月	1	2	3	4
4	1.自己紹介・クラス役員選出 2.御殿場青年の家について 3.御殿場青年の家生活の反省 4.ホームルーム運営について	オリエンテーション 1.学校生活の一般について 2.生徒会, クラブ活動 3.自己紹介と内外の融和	1.自己紹介, 委員選出 2.御殿場生活の準備 3.ホームルームづくり	1.自己紹介, クラス役員の選出 2.御殿場青年の家について 3.御殿場青年の家の生活の反省
5	1.音楽祭について 2.音楽祭の練習 3.映画野望の系列についての批評	ホームルームの組織作り 1.クラス役員の選出 2.生徒会委員の選出 3.ホームルームの班編成, 班長選出	1.映画の感想発表 2.ホームルーム計画の作成 3.音楽祭の準備	1.音楽祭について 2.音楽祭の練習 3.映画(野望の系列)批評 4.ホームルーム運営について
6	1.音楽祭の練習 2.文化祭について(テーマの設定) 3.スポーツ(野球) 4.水泳大会の選手決定	ホームルーム活動の具体化 1.ホームルーム年間計画の作成 2.学級スポーツ大会 3.音楽祭のために	1.音楽祭の練習 2.水泳大会の選手の選出	1.音楽祭の練習 2.体育祭について 3.文化祭を成功させるには
7	文化祭の準備	ホームルームの団結 1.文化祭について 2.音楽祭の反省と協力の精神について 3.夏休みをいかに過ごすか	1.体育祭, 文化祭について 2.夏休みの生活	1.お茶の水大付高との合同ホームルームの準備 2.合同ホームルーム 3.文化祭の準備(テーマの設定)
9	体育祭の準備	ホームルーム活動の活潑化 1.文化祭の準備 2.抽象的内容(責任, 将来)について討論 3.体育祭の準備	1.夏休みの反省 2.水泳大会について 3.読書会	1.友情について 2.体育祭の準備
10	文化祭の準備	各自の協調 1.体育祭 2.文化祭の準備	文化祭の計画と準備	1.学生について 2.文化祭の準備
11	文化祭の実行と反省	美的情操を養う 1.文化祭 2.音楽, 絵画鑑賞 3.読書会	1.文化祭の反省 2.生徒会について	1.文化祭の準備と反省 2.校外散歩と室内遊技
12	1.期末考査の対策 2.冬休みの生活設計	自己反省 1.青年の精神衛生 2.今年の反省と来年への決意	1.スポーツ 2.冬休みについて	映画について
	1.新年を迎え討論会	健全な考えを養う	1.冬休みの反省	調査について

1	2.自分の将来 3.来年度の選択教科	討論会	2.スポーツ 3.討論会	
2	1.生徒会、クラブ活動の充実 2.職業と人生	生徒会の活潑化のために 生徒会、クラブ活動の充実と進展について討論	将来への希望	歴史について
3	1.卒業生を送る 2.来年度への希望 3.音楽鑑賞	高校生活1年の反省 1年間の思い出を語り合う	反省と抱負	映画について

昭和40年度高二ホームルーム年間指導計画				高三ホームルームの計画	
組 班	1 ・ 2 ・ 3			4	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
	4	1.学級編成諸係の選挙 2.HR計画の作成 3.生徒会、クラブ活動への積極的参加			1.自己紹介 2.ホームルームをどのように運営していくか
5	1.春季旅行の計画と準備 2.特別教育活動と学習は両立するか 3.音楽祭の準備			1.役員選出・班分け 2.ソフトボール大会 3.旅行計画(仲間相互の理解のため) 4.旅行におけるHR活動の総括	(将来の志望) 1.自己を語る(作文) 2.計画的学習 3.大学紹介懇談会 4.個人指導
6	1.旅行の反省 2.修学旅行の計画と準備 3.音楽祭反省			1.音楽祭を連帯化のために役立つには 2.生徒会活動を活発にするには 3.劣等感を如何に克服するか 4.真の友情を育てるには	(学習と健康) 1.保健と精神衛生 2.学習結果についての反省 3.音楽祭の準備と参加
7	夏休みの生活設計(学習計画を含む)			1.文化祭を爽りあるものにするには 2.夏休みの生活を意識あらしめるために	(夏休みの計画) 1.夏休みの学習計画 2.夏休みの諸注意 3.夏休み中の生活計画の確認 4.卒業文集の計画
9	1.夏休みの反省 2.HR計画の作成 3.体育祭準備			1.夏休みの活動報告 2.体育祭で力を出しきるために 3.真実を語るために(HRの停滞を打破するため) 4.文化祭をHR全員の共同活動の場とするために	(余暇の利用) 1.夏休みの反省 2.レクリエーション 3.体育祭への参加
10	1.体育祭の反省 2.文化祭の計画と準備			1.遅刻と掃除サボを止めるために 2.現代青年像(主体制の価値検討)について 3.班別バスケットボール大会 4.他校との合同HR(男女交際のあり方、高校生の社会への要求)	(進路指導) 1.進路指導に関係した特別講演会 2.レクリエーション

11	1.文化祭の反省 2.生徒会，HR関係の選挙 3.高校生活中堅学年としての反省 4.映画テレビ番組の批判，図書の選択	1.レコードコンサート 2.文化祭活動の総括 3.受験競争にどう対処すべきか 4.適生の把握と能率的勉強法	(文化と国家) 1.世界の情勢(講演) 2.生徒会，HR諸係の選挙 3.文化祭の計画と準備
12	一年間の時事問題，冬休みの生活設計	1.内面的な価値の軽視とどう扱うべきか 2.社会の矛盾をどう受けとめるべきか	(冬休みの計画) 1.保健と精神衛生 2.冬休みと学習計画 3.入学試験に対する諸注意 4.個人指導
1	1.HR計画の作成 2.レクリエーション 3.進学について	1.新年の学生生活への希望を語る 2.孤立化を深める仲間関係をどうしたらよいか 3.レクリエーション	(高校生活の反省) 1.3年間の思い出 2.卒業後の親睦および連絡について 3.レクリエーション
2	1.修学旅行の準備 2.新学年への抱負	1.進路の選択 2.卒業生を送る準備 3.修学旅行を慰安旅行の危険から救うには	(卒業の諸準備) 2月中 1.卒業アルバムの完成 2.卒業文集の完成 3.社会人としての礼儀 4.謝恩会の準備
3	一カ年の思い出	この一年何をしたか	

3. ホームルームの状況

高1の2組

6月25日(金)6時限

テーマ「文化祭におけるクラスデコのテーマを決める」

①すでに各自前もって考えて来たテーマを発表(やじ笑声が時々飛ぶ)

②候補を一応6つ挙げる(板書)

1. 本について
2. お化けルーム
3. 日本政治批判
4. 駒場に期待する人間像
5. 純粹戦後派の考え方
6. 日本の伝統の研究

③各々について提案者が説明，質疑応答

④討論 A, 「従来いつも取り上げられて来た1や4のようなテーマは，マンネリ化を避けるために，取り上げないことにしよう。」

B, 「1～6までを公平に扱い，その中から選ぼう」

第1回採決，2をやめることが可決されたが，4については賛否半々で，暫時休けい。緊急動議4を残そう。

第2回採決，4もさく除することを可決

残った4つのテーマについて，より具体的な提案者の説明，質疑応答

第3回採決 比較多数により5のテーマ選ぶことに決定

⑤ 緊急質問「文化祭クラスデコの費用について」

学級代表から「生徒会とPTAから合計5,000円位毎年出ている。尚、不足分は学級で補えばよい。」

反論「学級費でうめ合せしないで、学校から出る費用の範囲内でやろう」

賛成多数。その結果「なるべくその範囲内でやろう」と申し合せる。

⑥ 生徒会としての文化祭実行委員（各学級1名づつ）の選出

仕事の内容の説明（学級代表から）「現在何の委員もやっていない人がよい」賛成多数。立候補者なし。推せんにより3名の候補があげられ、挙手により1名を選ぶ。

時間が来たので解散

〔反省〕

- ① クラスデコのテーマとして、娯楽的なものが否定された（圧倒的に）ことは、学級の真面目な雰囲気を表わしている。
- ② 日本の政治批判というテーマに賛成者が少なかったが、生徒の考え方の慎重さがうかがえる。
- ③ 付属出身の一部の生徒が、特に活発で、この会議のイニシアチブを取っていた感がある。
- ④ 外からの生徒の意見をもっとよく聞く態度が欲しい。特にテーマについては付属出身者の一部の生徒が強硬に反対し、その圧力に屈した感があるのは遺憾である。

高2の1組

6月25日（金）6時限

事前班長会議で議題をつぎのように決定

1. ホームルーム書記2名選出
2. 体育祭応援団係役員（2～3名）選出
3. 文化祭の期日について（期間2日か3日か）
4. 音楽祭反省

議題1, 2, 全体会議により決定, 3～4は班別に別に分かれて話し合い, 全体会議にもどり毎毎に意見を発表, 所謂バズセッションの形をとったため以前より多数の意見を聞くことができ, クラス全体の意のあるところを容易に発見することができた。文化祭の期間を2日より3日とするならば, それだけの意義のあるものでなければならないという自覚, 音楽祭審判に対する批判から将来審判規程を明示してほしいという希望などが出た。

〔反省〕

取り扱った議題が各自に関係あるものであるため, 積極的発言もあり, 十分な緊張を持続していたが, かかる場合はむしろ少なく, 自分に必要のないことがらには心に向けずホームルームに冷淡な態度をとる者さえいる。そこで生徒の関心をひく問題, 興味のある問題を取り上げることが第一に必要なことであり, 同時に運営に当を得ることが必要であることを痛感させられる。

4. 実施しての成果と問題点

a. 成果

- ① 準備がよくできる
- ② 自分達の自由になる役立つ時間であるという意識が割合高くなった。
- ③ 4月末の御殿場での合宿生活は生徒の融和（とくに村中よりの進学者と高校になって新たに入学したものとの）を大いに助けホームルームの基礎をつくった。

b. 問題点

- ① ホームルームの時間がつぶされる。
- ② ホームルームの時間が、連絡、委員選手の選出など事務的なことにつかわれることが多い。
- ③ ホームルームの時間は無用なものという気持ちをもっているものが多い。
- ④ 日常学校生活で起る諸問題など身近かな問題をとり上げることはよいが、議題として採り入れるルールに従う態度にかけている。
- ⑤ 高三の場合は受験以外のことは受けつけず、その他には関心をもつ余裕がないといった感じがつよい。
- ⑥ 高三の場合、成績のよいものも、悪いものも、皆一様に学力に不安を感じている。また本当に気のゆるせる友達ももっていないようである。

5. 今後更に留意すべきこと

- (1) ホームルームの週1時間の時間は、話し合いのため、スポーツのためなどに確実に使えるように配慮しなければならない。そのためにショートホームルームで事務的なことを処理する必要がある。
- (2) 生徒の力により、生徒自身のために興味ある題材を探させ、ホームルームの内容を魅力あるものにしていくことが何にもまして重要なことである。
- (3) 班編成を行い、主題毎に責任をとる班をきめておき運営するのがよい。